

外国籍県民かながわ会議（第13期・第2回） 議事録

開催日：2025（令和7）年3月15日（土曜日）
場所：かながわ県民センター3階 305会議室

1 開会（事務局）

会議のルール、会議の録音、欠席者及び配布資料等について説明した。

2 議題

(1) 提言構想メモの発表から県による取組までの流れの説明（事務局）

資料1に沿って、事務局から説明をした。

<質疑応答>

① ストービー委員

- ・3ページの「国・地域別外国人数」について、最近、人口増加率が一番多い国・地域はどこか。

（事務局）

- ・中国、ベトナム、ネパール等の出身者の増加が著しい。

② モラレス副委員長

- ・年齢別のデータはあるか。

（事務局）

- ・国の在留外国人統計でわかると思う。確認が出来たら共有する。

③ 韓委員

- ・6ページについて、県が県民会議の提言を受けて、その後取り組むかどうかの結論を出すまでに、どのくらいの時間が必要か。

（事務局）

- ・あまりお金が必要なければさほど時間はかからないが、多くの予算を必要とする取組の場合、検討に2～3年以上かかる可能性もある。

④ 李委員

- ・ 7 ページについて、公立高校の在県枠について、生まれた時点で外国籍の子どもも、この制度の対象であるのか。

(オオシロ副委員長)

- ・ 私自身が高校受験したときは、在留期間に制限が設けられていた。このページには「外国籍」と書いてあるが、普通に日本の学校に通ってきたような子どもは、この制度の対象外だと思う。

⑤ ドン委員

- ・ 8 ページについて、外国籍の子どもの高校在学率について、2025年時点の推計値を算出しているか。

(事務局)

- ・ 確認してお答えする。

⑥ 柳委員長

- ・ 県議会の時期は決まっているのか。

(事務局)

- ・ 今年の場合、当初予算を組む議会の日程は2月12日～3月25日。

最終日に議決されれば、次年度の予算が使えるようになる。

- ・ 予算の編成権は知事にあり、各課では6月～10月には準備を始めている。どのくらい検討が必要かによって、実現の時期が変わる。

(柳委員長)

- ・ 例えば、第1期の会議で提言された「かながわ外国人すまいサポートセンター」は、会期の途中から国際課が中心になって話を進め、提言の翌年に実現した。また、在県枠のように、現場の教員からの声もうまく組み合わさったことで、話が進んだこともある。

(2) 外国籍県民かながわ会議による提言の実現例紹介 (事務局)

資料2に沿って、事務局から説明をした。

＜補足説明＞

- ・ 日本語講座の回数はレベルごと20回、1回あたり2時間。

りゅういんちょう
(柳委員長)

- ・国や県の動きがあって、成り立っているということがよくわかった。
県民会議から実現した取組は、過去の委員にも共有してほしい。

しょういん
(蔣委員)

- ・県民会議から実現した取組がわかるようにまとめてほしい。

(3) 提言構想メモの発表

資料3に沿って、各委員が考えている提言構想メモの内容を発表した。
欠席した委員の提言構想メモについては、オオシロ副委員長が代読した。

<質疑応答>

① モラレス副委員長→王委員

- ・運転免許証や在留カードについては、国が所管しているので、県ではどうにもできないのではないかな。

いいん
(李委員)

- ・東京都の場合、運転免許の試験場は3か所あり、あまり混んでいない。神奈川県は混雑していて、WEB上で常に予約待ち、窓口の電話もつながらない、直接行っても予約ができないといった深刻な状況にあると聞いているので、この提言に共感した。

ゆいん
(兪委員)

- ・観光客が日本で免許更新をする場合もあるので、増やしてほしい。

おういん
(王委員)

- ・国の制度に関わることは、県から国に要請することもできるのではないかな。また、県の権限で試験場や職員を増やせるのではないかな。

はんいん
(韓委員)

- ・県民会議を陳情の場にしたいくない。もっと現状を把握した上で提案すべきではないかな。

- ・また、情報伝達について、例えば相続等については、外国人だから伝わりにくいのではなく、日本人でも理解が難しい。関心がなくて自分で調べていないからなのか、外国人差別だから伝わらないのかは、別の次元の話。情報関係は話が混ざってしまっている。「情報にアクセスしづらいのを直しましょう」という提案がある一方で、自分で

どうにかすれば改善できるものもある気がする。もう少し綿密に検討しないと、提案しても、ただ愚痴を言っている人たちになってしまいかねない。今後どうするか、皆さんと話して考えていきたい。

② ハリソン委員→事務局

・県では Youtube や Instagram 等の SNS は運用しているか。また、コンテンツ作成のための予算はあるか。

(事務局)

・SNS のアカウントはある。動画等のコンテンツを作る場合、それぞれの部署でそのための予算をとる。

(ハリソン委員)

・今後、県に SNS のアカウントを作ってもらうか、外国人コミュニティとしてアカウントを作るか、話し合っていきたい。

③ 倉橋委員→事務局

・バ委員の提言構想メモについて、私も県民会議の最終報告の英語版はあった方がよいと思う。

(事務局)

・前期会議の報告の概要版については、委員が翻訳した。もし同様に、委員に翻訳していただけるならありがたい。県民会議のホームページにおける説明文等は、今月末までに多言語化する予定。

④ 韓委員→兪委員

・提言構想メモの意図は、在留 3 年から 6 年以内に緩和された在県枠の受験資格の年限数を、もとに戻したいということか。

(兪委員)

・4 年でもよいので、今よりも在留期間を少し短くしてほしい。来日する子どもが増えたことで、高校進学できないケースも生じている。

(柳委員長)

・年限の緩和で在県枠を受験する子どもが増え、合格率が低くなってしまった、という意味だと思う。年限数を減らすという方向か、枠の拡大を求める方向か、話し合っていきたい。

3 まとめ（柳委員長）

- ・今日は、皆が思っていることを案として出した。次の会議までに、自分の提言を見直して、ブラッシュアップしてほしい。
- ・国の制度に関する提言を書いた委員もいる。皆で決めたことであれば、国へ要望を出すこともありだと思う。ただ、その場合、伝えるだけになり、何かを変えることは難しい可能性がある。また、県の判断によっては、国へ要望を出すこと自体が難しい場合もある。
- ・今後の会議では、同じようなテーマを持った委員が、部会に分かれて話し合っ^あて進^{すす}めていく。色々な分野^{ぶんや}について考^{かんが}えた人は、自分が一番検討^{いちばんけんとう}したい提言^{ていげん}の案^{あん}を決^きめておいてほしい。
- ・他の人が話したテーマに関して知^しっている情^{じょう}報^{ほう}があれば、ぜひ皆に共^{きょう}有^{ゆう}をしてほしい。情^{じょう}報^{ほう}を集^{あつ}めて、現^{げん}状^{じょう}の仕^し組^くみでは足^たりていないものを提言^{ていげん}として作^{つく}っていきたい。

4 閉会（事務局）

- ・次回の会議は5～6月の予定であることを伝えた。